

長岡技術科学大学学報

平成17年1月5日

総務部総務課

目次

学内規則	2	・叙位、叙勲	25
人事	3	・独立行政法人国立高等専門学校機構と両技大との懇談会	25
・人事異動	3	・セクシュアル・ハラスメントの防止に関する講演会	25
会議	4	・公開講座	25
学事	10	・技術開発懇談会	25
・博士(工学)の学位授与	10	・平成16年度高度技術者研修	25
・平成17年度第1学年学生募集要項(一般選抜の前期日程・後期日程)(概要)	10	・長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク	25
・平成17年度第1学年学生募集要項(私費外国人留学生特別選抜)(概要)	13	・知的財産セミナー	26
・平成17年度第1学年学生募集要項(帰国子女特別選抜)(概要)	15	・工作センター講演会	26
・平成17年度大学院工学研究科修士課程学生募集要項(一般選抜・社会人特別選抜)[第2次募集](概要)	16	・スーパー・サイエンス・ハイスクール研究室訪問	26
・平成17年度大学院工学研究科修士課程学生募集要項(外国人留学生特別選抜)[第2次募集](概要)	19	・匠陵講演会	26
・平成17年度大学院工学研究科博士後期課程学生募集要項(一般選抜・社会人特別選抜)[第2次募集](概要)	21	・特別講演会	26
・平成17年度大学院工学研究科博士後期課程学生募集要項(外国人留学生)[第2次募集](概要)	22	・第1回学長と学生との懇談会	26
・平成17年度第1学年(推薦)入学者選抜試験概況	23	・第2回就職ガイダンス	26
諸報	24	・交通安全講演会	26
・受賞関係	24	・学生指導研究会	26
・永年勤続者表彰	25	・平成16年度サークルリーダー研修会	26
		・平成16年度外国人留学生等実地見学旅行	27
		・第6回長岡国際祭り	27
		・平成16年度留学生等交流懇談会	27
		・平成16年度科学研究費補助金交付決定一覧(追加分)	27
		・日誌	27
		・平成16年度学内委員会委員等の異動	29

学 内 規 則

制定日 〔制定番号〕	学内規則等名	制定・改廃理由
平成 16 年 12 月 20 日 〔学則第 2 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 学則の一部を改正する学則	学則の規定事項並びに検定料等の返還及び免除措置に関する見直しにより、所要の改正をすること。
平成 16 年 10 月 28 日 〔就業規則第 29 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 職員給与規則の一部を改正する規則	職員給与規則第 3 条に基づき、平成 16 年 9 月 10 日閣議決定第 4 項の要請及び一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（平成 16 年法律第 136 号）第 2 条により国家公務員の寒冷地手当に関する法律が改正されたことにより所要の改正をすること。
平成 16 年 10 月 28 日 〔就業規則第 30 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 非常勤職員就業規則の一部を改正する規則	職員給与規則第 3 条に基づき、平成 16 年 9 月 10 日閣議決定第 4 項の要請及び一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（平成 16 年法律第 136 号）第 2 条により国家公務員の寒冷地手当に関する法律が改正されたことにより所要の改正をすること。
平成 16 年 10 月 28 日 〔就業規則第 31 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 外国人教師就業規則の一部を改正する規則	職員給与規則第 3 条に基づき、平成 16 年 9 月 10 日閣議決定第 4 項の要請及び一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（平成 16 年法律第 136 号）第 2 条により国家公務員の寒冷地手当に関する法律が改正されたことにより所要の改正をすること。
平成 16 年 10 月 28 日 〔就業規則第 32 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 寒冷地手当規程の一部を改正する規程	職員給与規則第 3 条に基づき、平成 16 年 9 月 10 日閣議決定第 4 項の要請及び一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（平成 16 年法律第 136 号）第 2 条により国家公務員の寒冷地手当に関する法律が改正されたことにより所要の改正をすること。
平成 16 年 10 月 28 日 〔規則第 74 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 役員報酬規則の一部を改正する規則	役員に対する期末特別手当の見直しにより、所要の改正をすること。
平成 16 年 12 月 20 日 〔規則第 75 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 教授会規則等の一部を改正する規則	学則の改正に伴い、所要の改正をすること。
平成 16 年 12 月 20 日 〔規則第 76 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 役員報酬規則の一部を改正する規則	役員に対する期末特別手当の見直しにより、所要の改正をすること。
平成 16 年 12 月 20 日 〔規則第 77 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 外国人留学生規則の一部を改正する規則	ハノイ工科大学とのツイニング・プログラムに基づく外国人留学生の検定料を免除すること及び学則の改正（検定料等の返還措置に関する規定の見直し及び条の繰上げ）に伴う見直しにより、所要の改正をすること。
平成 16 年 12 月 20 日 〔規程第 67 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 事務組織規程等の一部を改正する規程	学則の改正に伴い、所要の改正をすること。

平成 16 年 12 月 15 日	国立大学法人長岡技術科学大学 安全パトロール実施要項	職員の労働災害及び学生の教育研究上の危険防止のため実施する安全パトロールに関し、必要な事項を定めること。
平成 16 年 12 月 20 日	国立大学法人長岡技術科学大学 学則の運用に関する要項等の一部を改正する要項	学則の改正に伴い、所要の改正をすること。

人 事

人事異動

(学長発令)

発令年月日	氏 名	発 令 内 容	発令前の職名等
(教育職員)			
16.11.1	小野浩司 梅田 実 熊倉俊郎 片岡正俊	教授(電気系) (昇任) 教授(化学系)(昇任 任期 平 21.10.31 まで) 助教授(環境・建設系) (昇任) 教授(経営情報系) (採用)	助教授(電気系) 助教授(化学系) 助手(環境・建設系)
16.12.1	樋口 秀 高田守昌 關 一	助教授(環境・建設系) (昇任) 助手(機械系) (昇任) 休職期間更新(平 17. 3.31 まで)	助手(環境・建設系) 教務部学務課(学務係 機械・工作技術班) 助教授(電気系)
(事務系職員)			
16.11.1	泉田寛徳	総務部総務課職員係長 (兼務命)	総務部総務課専門職員(労務担当)
16.11.26	泉田寛徳	総務部総務課職員係長 (兼務免)	総務部総務課専門職員(労務担当)
16.11.29	浅野俊一	教務部学生課長事務代理 (命)	教務部長
16.12.1	河原夏江	職務復帰	教務部学務課(学務係 化学・分析技術班) (育児休業)
16.12.16	齋藤 繁	総務部総務課(人事係) (採用)	
16.12.31	村山仁志 五十嵐雅信	教務部入試課(入学広報係) (兼務期間満了) 辞職	総務部総務課(広報係) 総務部総務課人事係人事主任
	塗 洋二	辞職	教務部学務課(学務係 機械・工作技術班)
	徐 榮橋	辞職	教務部学務課(学務係 機械・工作技術班)
17. 1. 1	佐藤賢太	教務部学務課(学務係 機械・工作技術班) (採用)	

会 議

役員会

〔第7回〕

- ・日時 平成16年10月6日(水) 9時
- 議題 1. 経営協議会及び学長選考会議の開催について
2. 学内委員会の再編・統合について
3. 国家公務員の給与改定に伴う寒冷地手当の見直しについて
4. 平成17年度学内予算編成基本方針について

〔第8回〕

- ・日時 平成16年10月27日(水) 10時
- 議題 1. 職員給与規則等の改正について
2. 学長の選考・解任の基本方針について
3. 外部資金による教員の定年後の研究活動について

〔第9回〕

- ・日時 平成16年12月1日(水) 9時
- 議題 1. 新潟県中越地震について
2. 学則等の改正について
3. 職員給与等の改正について
4. 平成16年度補正予算について
5. 平成17年度学内予算編成基本方針について
6. 工業高校の推薦入学者に対する入学前学習指導について
7. 平成18年度概算要求について
8. 地震に伴う超過勤務手当等について
9. 経営協議会及び学長選考会議の開催について
10. 故内田元学長の新潟産業大学と本学との合同大学葬について
11. 地震対策本部の解散について

第34回将来計画委員会

- ・日時 平成16年12月1日(水) 15時15分
- 議題 1. バイオ関連博士専攻について

教育研究評議会

〔第8回〕

- ・日時 平成16年10月6日(水) 13時30分
- 議題 1. 教員の選考について

2. 教員選考委員会の設置について
3. 寄附講座教員(客員教授)の選考について

〔第9回〕

- ・日時 平成16年10月27日(水) 13時30分
- 議題 1. 教員の選考について
2. 教員選考委員会の設置について
3. 助手の選考について
4. 技術開発センター非常勤講師(客員教授)の選考について
5. 連携大学院非常勤講師(客員助教授)の選考について
6. 外部資金による定年後の研究活動について

〔第10回〕

- ・日時 平成16年10月29日(金) 13時30分
- 議題 1. 学生及び教職員の安否確認について
2. ライフライン等の状況について
3. 大学の建物等について
4. 授業の再開について
5. 図書館の休館について

〔第11回〕

- ・日時 平成16年12月1日(水) 13時30分
- 議題 1. 学則等の改正について
2. 教員の選考について
3. 教員選考委員会の設置について
4. 博士後期課程指導教員資格認定について
5. 東京農工大学との単位互換協定の締結について

教授会(教授, 助教授, 講師)

〔第317回〕

- ・日時 平成16年10月13日(水) 13時30分
- 議題 1. 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について
2. 大学以外の教育施設等における学修成果の単位認定について
3. 平成17年度大学院進学予定者のうち「実務訓練」に替えて「課題研究」を履修する者について
4. 単位互換協定に係る派遣学生の単位認定について

〔第318回〕

- ・日時 平成16年10月29日(金) 15時
- 議題 1. 平成16年11月1日(月)授業再開への確認等について
- 2. 図書館の休館について

〔第319回〕

- ・日時 平成16年11月10日(水) 13時30分
- 議題 1. 長岡工業高等専門学校の本学への一時移転について

〔第320回〕

- ・日時 平成16年12月8日(水) 13時30分
- 議題 1. 平成17年度第1学年(推薦)入学者選抜試験合格者の選考について
- 2. 大学院工学研究科修了者(12月期)の認定について
- 3. 論文博士の学位授与について

教授会(教授)

〔第317回〕

- ・日時 平成16年10月13日(水) 15時25分
- 議題 1. 教員の選考について
- 2. 教員選考委員会の設置について
- 3. 寄附講座教員(客員教授)の選考について

〔第319回〕

- ・日時 平成16年11月10日(水) 14時20分
- 議題 1. 教員の選考について
- 2. 教員選考委員会の設置について
- 3. 助手の選考について
- 4. 技術開発センター非常勤講師(客員教授)の選考について
- 5. 連携大学院非常勤講師(客員助教)の選考について

〔第320回〕

- ・日時 平成16年12月8日(水) 15時36分
- 議題 1. 教員の選考について
- 2. 教員選考委員会の設置について
- 3. 博士後期課程指導教員資格認定について

評価室会議

〔第3回〕

- ・日時 平成16年10月27日(水) 11時55分
- 議題 1. 教員評価の基本方針について

〔第4回〕

- ・日時 平成16年11月9日(火) 9時
- 議題 1. 教員評価の評価項目について

〔第5回〕

- ・日時 平成16年11月29日(月) 9時30分
- 議題 1. 教員評価の評価項目について

〔第6回〕

- ・日時 平成16年12月21日(火) 13時
- 議題 1. 教員評価について

第5回情報基盤推進本部会議

- ・日時 平成16年11月1日(月) 16時
- 議題 1. 平成17年度学内計算機システム更新について
進め方、仕様策定委員会設置及び委員の選出

広報委員会VOS専門部会

〔第5回〕

- ・日時 平成16年11月25日(木) 10時30分
- 議題 1. VOS 125号の内容について

〔第6回〕

- ・日時 平成16年12月21日(火) 10時45分
- 議題 1. VOS 126号の内容について
- 2. VOS 127号の内容について

第2回広報委員会高専広報専門部会

- ・日時 平成16年10月19日(火)
- 議題 1. インターネットを利用した大学広報について
- 2. 「研究室ガイドブック(仮名)」の作成について

安全衛生管理委員会

〔第5回〕

- ・日時 平成16年11月24日(火) 13時30分
- 議題 1. 棚の転倒防止措置等の徹底について
- 2. 化学系実験室における火災について
- 3. 安全管理に係る学内パトロールの導入等について
- 4. レーザー機器装置の設置状況等調査の結果について
- 5. 裁量労働従事者の健康状態自己診断について
- 6. 衛生管理者の巡視について

〔第6回〕

- ・日時 平成16年12月22日(水) 13時30分
- 議題 1. レーザー機器装置の設置状況等調

査の結果等について

2. 安全のための手引の作成状況について
3. 年末年始における安全確保について

第2回安全衛生管理委員会学生の安全対策検討部会

- ・日時 平成16年11月26日(月) 15時30分
- 議題 1. 「安全のための手引」(第8版)の作成について

第2回セクシュアル・ハラスメント対策委員会

- ・日時 平成16年11月8日(月) 13時15分
- 議題 1. 「セクシュアル・ハラスメントに関する意識調査」について
- 2. 今後のセクシュアル・ハラスメント防止対策等について

学術国際委員会

[第6回]

- ・日時 平成16年10月22日(金)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 長岡技術科学大学と華東理工大学(中国)との学生交流に関する協定について

[第7回]

- ・日時 平成16年11月25日(木) 10時30分
- 議題 1. 長岡技術科学大学とバンドン工業大学(インドネシア)との学術交流に関する協定と学生交流に関する覚書について
- 2. 長岡技術科学大学とシモン・ボリバール大学(ヴェネズエラ)との学術交流に関する協定延長について
- 3. 長岡技術科学大学のハノイ工科大学事務所の開設について
- 4. 国際交流の基本方針について
- 5. 国費留学生の選考における学術交流協定等の取扱いについて

[第8回]

- ・日時 平成16年12月22日(水)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 長岡技術科学大学とヌエボレオンコンソーシアム等との学術交流に関する協定について

ハノイ工科大学とのツイニング・プログラム推進室会議

[第3回]

- ・日時 平成16年10月26日(火) 14時30分
- 議題 1. ツイニング・プログラムの入学試験について
- 2. 長岡技術科学大学・ハノイ工科大学現地事務所について

[第4回]

- ・日時 平成16年11月22日(月) 10時
- 議題 1. ツイニング・プログラムの入学試験日程等について
- 2. 長岡技術科学大学のハノイ工科大学事務所の開設について

[第5回]

- ・日時 平成16年12月2日(木)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. ヴィエトナムハノイ工科大学とのツイニング・プログラム関係予算について

第72回施設環境委員会

- ・日時 平成16年10月19日(火) 13時
- 議題 1. 共用スペースチャージ料の用途について
- 2. キャンパスマスタープランについて
- 3. スペースチャージ制度の導入について
- 4. 共用スペース使用者選考基準について

第6回技術開発センター運営委員会

- ・日時 平成16年10月18日(月) 10時30分
- 議題 1. 技術開発センタープロジェクト申請について

テクノインキュベーションセンター運営委員会

[第4回]

- ・日時 平成16年11月29日(木) 9時
- 議題 1. 産学交流フェアについて
- 2. テクノインキュベーションセンター新春トーク(案)について
- 3. テクノインキュベーションセンター講演会(案)について
- 4. 地域共同センター等サミット(案)

について

5. テクノインキュベーションセンターキャンパスインキュベーション支援事業(案)について
6. テクノインキュベーションセンターニュースの発行について

〔第5回〕

- ・日時 平成16年12月13日(木)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 平成17年度テクノインキュベーションセンター所要見込額について

第2回知的財産委員会

- ・日時 平成16年10月18日(月) 14時30分
- 議題 1. 産学連携・知的財産本部構想について

教務委員会

〔第7回〕

- ・日時 平成16年10月4日(月) 13時30分
- 議題 1. 大学以外の教育施設等における学修成果の単位認定について
- 2. 単位互換協定に基づく派遣学生の単位認定について
- 3. 学位論文審査付託にかかる審査委員の指名について
- 4. 大学院学生の指導教員の変更について
- 5. 大学院学生の研究指導の委託について
- 6. 平成16年度非常勤講師による授業実施計画について
- 7. 平成17年度大学院進学予定者のうち「実務訓練」に替えて「課題研究」を履修する者について
- 8. 授業アンケートの様式変更について
- 9. 技術者倫理教育に関するカリキュラム改定について
- 10. 入学前学習指導及びブレースメントテストの実施について

〔第8回〕

- ・日時 平成16年10月22日(金) 13時30分
- 議題 1. 平成17年度学年暦について
- 2. 平成17年度学年始めの日程について
- 3. 連携大学院に係る非常勤講師(客

員助教授)の選考について

4. 技術開発センター非常勤講師について

〔第9回〕

- ・日時 平成16年11月30日(火) 15時
- 議題 1. 大学院修了者(12月修了者)の認定について
- 2. 論文博士の学位授与について
- 3. 単位互換協定について
- 4. 特別研究学生の受入れについて
- 5. 大学院学生の研究指導の委託について
- 6. 大学院学生の指導教員の変更について
- 7. 平成17年度入学者用教育課程について
- 8. 平成17年度ティーチング・アシスタント実施計画について
- 9. 成績報告及び不正行為の防止策について

教務委員会教育課程専門部会

〔第4回〕

- ・日時 平成16年10月18日(月) 10時30分
- 議題 1. 平成17年度学年暦について
- 2. 平成17年度学年始めの日程について
- 3. 平成17年度入学者用教育課程について
- 4. 平成17年度授業時間割表の作成について

〔第5回〕

- ・日時 平成16年11月19日(金) 13時30分
- 議題 1. 平成17年度入学者用教育課程について
- 2. 平成17年度非常勤講師による授業実施計画について
- 3. 平成17年度授業時間割表について
- 4. 平成17年度ティーチング・アシスタント実施計画について

〔第6回〕

- ・日時 平成16年12月20日(月) 13時30分
- 議題 1. 平成17年度入学者用教育課程(学部・修正)について
- 2. 平成17年度在學生に係る教育課程表の改訂について

3. 単位互換協定に係る特別聴講学生の履修可能科目について

教務委員会教養教育等専門部会

〔第4回〕

- ・日時 平成16年11月15日(月) 10時30分
- 議題 1. 全体的な経過について
2. 基礎学力向上策としての入学前教育実施策について
3. 教養教育理念の枠組みからみた現行科目の体系について
4. 平成17年度カリキュラムの編成方針について
5. 教養教育に関する教員の意識調査の実施について
6. 来年度予算に関わる要求方針について

〔第5回〕

- ・日時 平成16年11月20日(月) 9時
- 議題 1. 本学の教育目的への「指導的技術者」事項の追加の提案について
2. 教養教育の卒業要件単位対象の科目枠の拡大について
3. 実践ボランティア活動科目の履修案内表現の改訂について
4. 新設科目について
5. 基礎学力向上策としての入学前教育について
6. 新年度ガイダンスに向けた準備について
7. 教養教育に関する教員の意識調査の実施について

実務訓練委員会

〔第5回〕

- ・日時 平成16年11月19日(金)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 新潟県中越地震により実務訓練の継続が不可能になった者の変更について

〔第6回〕

- ・日時 平成16年12月27日(月)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 実務訓練から課題研究への切替えについて

学生委員会

〔第6回〕

- ・日時 平成16年10月8日(金) 15時30分
- 議題 1. 平成16年度9月入学者の入学料免除者の選考について
2. 日本学生支援機構奨学金の返還について

〔第7回〕

- ・日時 平成16年11月10日(水) 15時05分
- 議題 1. 新潟県中越地震について
2. 平成16年度後期授業料免除者の選考について
3. 平成17年度日本学生支援機構大学院奨学生採用候補者の選考について
4. 平成17年度学生宿舍入居者の選考について
5. 平成17年度国際学生宿舍入居者の選考について
6. 平成17年度学生行事について
7. 平成17年度学生生活ガイドブックの作成について
8. 平成17年度新入生合宿研修の実施について

留学生委員会

〔第4回〕

- ・日時 平成16年10月5日(火) 13時30分
- 議題 1. 平成17年度第1回私費外国人留学生奨学金の選考について
2. 留学生関係検討事項について
3. 短期留学推進制度に対する新しい取り組みについて

〔第5回〕

- ・日時 平成16年11月30日(火)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 国立大学法人長岡技術科学大学留学生規則の一部改正について

〔第6回〕

- ・日時 平成16年12月21日(火) 13時30分
- 議題 1. 社会人留学生特別コース選抜における国費の選考方法について
2. 大学推薦(研究生)の選考基準について

入試委員会

〔第6回〕

- ・日時 平成16年10月5日(火)

- 議題 1. 平成 17 年度大学院工学研究科修士課程学生募集要項(第 2 次募集)(案)について
2. 平成 17 年度大学院工学研究科博士後期課程学生募集要項(第 2 次募集)(案)について
3. 平成 17 年度第 1 学年入学者選抜試験(推薦)委員等の決定について
4. 修士課程 9 月入学者の選抜方法について
5. 普通高校等推薦入試選抜方法について

〔第 7 回〕

・日時 平成 16 年 10 月 29 日(金)

- 議題 1. 平成 17 年度第 1 学年入学者選抜試験(推薦)の実施について

〔第 8 回〕

・日時 平成 16 年 11 月 9 日(火)

- 議題 1. 平成 17 年度第 1 学年(一般選抜、帰国子女特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜)入学者選抜試験監督要領(案)等について
2. 平成 17 年度第 2 学年(ツイニング・プログラム特別選抜)学生募集要項(案)等について
3. 平成 17 年度第 3 学年(ハノイ工科大学ツイニング・プログラム特別選抜)学生の受入れについて
4. 平成 18 年度入学者選抜試験日程(案)について
5. 平成 18 年度第 3 学年入学者選抜試験の実施方法について
6. 平成 17 年度大学院工学研究科修士課程及び博士後期課程入学者選抜試験取扱要領の一部改正(案)について

〔第 9 回〕

・日時 平成 16 年 11 月 18 日(木)

- 議題 1. 平成 17 年度入学者選抜試験出願者に対する特別措置について

〔第 10 回〕

・日時 平成 16 年 12 月 7 日(火)

- 議題 1. 平成 17 年度第 1 学年(推薦)入学者選抜試験合格者の選考について
2. 大学入試センター試験に係る「問題冊子等保管・管理要領」及び「緊急事態等発生時に係る措置・対策等

- について(事故処理要項)(案)」について
3. 平成 17 年度大学入試センター試験実施要領(案)等について
4. 平成 17 年度第 1 学年(一般選抜・前期日程)入学者選抜試験委員の決定について
5. 平成 17 年度大学院工学研究科博士後期課程に進学を志望する者のうち、事情により第 1 次選考を受験しなかった者の取扱いについて
6. 新潟県中越地震等大規模自然災害に伴う検定料の取扱いについて
7. 大学院工学研究科修士課程及び博士後期課程の学生募集要項について

学 事

博士（工学）の学位授与

大学院工学研究科博士課程修了によるもの

学位記番号	氏 名	学位授与の日付	論 文 題 目
博甲第 322 号	堀 内 俊 治	平成 16 年 12 月 31 日	仮想音源のバイノーラル再生と方向制御のための適応信号処理法に関する研究
博甲第 323 号	熊 谷 英 敏	平成 16 年 12 月 31 日	Study on oxidation and decomposition processes of polymers treated with active oxygen species in ozone and plasma (オゾンやプラズマ内の酸素活性種による高分子の酸化・分解に関する研究)
博甲第 324 号	ソムサツ シダ ムソホーソ	平成 16 年 12 月 31 日	Structure and properties of $\text{CaCl}_2\text{-CaO-Al}_2\text{O}_3\text{-SiO}_2$ glasses ($\text{CaCl}_2\text{-CaO-Al}_2\text{O}_3\text{-SiO}_2$ ガラス系の構造と性質)
博甲第 325 号	浅 田 隆 志	平成 16 年 12 月 31 日	木質系バイオマス炭化物の機能性科学とその環境分野への利用に関する研究

論文提出によるもの

学位記番号	氏 名	学位授与の日付	論 文 題 目
博乙第 227 号	田 村 巧	平成 16 年 12 月 8 日	高速時分割 X 線解析による骨格筋細いフィラメントの構造変化の検出

平成 17 年度第 1 学年学生募集要項（一般選抜の前期日程・後期日程）（概要）

1 募集人員、募集の方法等

（1）募集人員

学部	課 程	募集人員	
		前期日程	後期日程
工学部	機械創造工学課程	31人	10人
	電気電子情報工学課程		
	材料開発工学課程		
	建設工学課程		
	環境システム工学課程		
	生物機能工学課程		
経営情報システム工学課程			

（2）募集の方法

「前期日程」及び「後期日程」とも、課程を区別せず一括して入学者を募集します。

（3）所属課程の決定

入学後、第 1 学年の第 2 学期に行います。

なお、志望が偏り、課程の定員を超えたときは、入学後の学業成績によって決定します。

2 前期日程の出願手続・選抜方法等について

（1）願書受付期間

平成17年 1月24日（月）～平成17年 2月2日（水）（期間内必着）

（2）選抜の方法

「大学入試センター試験」及び本学が実施する「個別学力検査」の総合点により行います。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

受験を要する教科・科目		受験を要する教科・科目数
国語	「国語」(近代以降の文章) 「国語・国語」(近代以降の文章)	6教科7科目
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」	
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」	
数学	「数学・数学A」	
	「数学・数学B」 『工業数理』 『簿記』 『情報関係基礎』	
	計2科目	
理科	「総合理科」、「物理B」 「化学B」、「生物B」 「地学B」	
外国語	「英語」、「ドイツ語」 「フランス語」、「中国語」 「韓国語」	

(注)『工業数理』、『簿記』、『情報関係基礎』を受験できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において当該科目を履修した者(見込みを含む)に限ります。

個別学力検査教科・科目

1) 数学(数・数・数)(必須)

2) 理科又は工業(受験する「科目」を、下表から選択し、入学志願票の所定欄に記入してください。)

教科等	科目名等	摘 要
理科	物理 B・物理 化学 B・化学 生物 B・生物	1. 「理科」又は「工業」のいずれかを選択してください。 ただし、「工業」を選択できるのは、高等学校の「工業に関する学科」の卒業(見込み)者に限ります。 2. 「工業」の各科目については、当該科目と「工業数理」のうち、当該科目に係りの深い部分を併せて出題範囲とします。
工業	機械工作・機械設計 電気基礎 工業化学 化学工学 土木設計 建築構造設計 環境工学・環境保全	

配 点

区 分	教 科						
	国語	地理歴史 公民	数 学	理 科	理 科 又は 工 業	外国語	計
大学入試センター試験	100	(注) 100	200	(注) 200		200	800
個別学力検査			150		150		300

(注) 大学入試センター試験の「地理歴史」と「公民」から2科目を受験した場合は、高得点の1科目の成績を採用します。

また、「理科」の3科目を受験した場合は、高得点の2科目の成績を採用します。

(3) 選抜試験の日時及び場所

期 日	教科等	時 間	場 所
平成17年2月25日(金)	数 学	10:00~11:30 (90分)	長岡技術科学大学
	理 科 又は 工 業	13:00~14:30 (90分)	

(4) 合格者の発表

平成17年3月7日(月) 午前10時

3 後期日程の出願手続・選抜方法等について

(1) 願書受付期間

平成17年1月24日(月)~平成17年2月2日(水)(期間内必着)

(2) 選抜の方法

「大学入試センター試験」及び本学が実施する「個別学力検査(小論文)」の総合点によって行います。
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目		受験を要する教科・科目数
数 学	「数学・数学A」 必 須	3教科5科目
	「数学・数学B」 『工業数理』 『簿記』 『情報関係基礎』	
のうちから 1科目選択		
計2科目		
理 科	「総合理科」、「物理 B」 「化学 B」、「生物 B」 「地学 B」	
のうちから 2科目選択		
外国語	「英語」、「ドイツ語」 「フランス語」、「中国語」 「韓国語」	
のうちから 1科目選択		

(注)『工業数理』、『簿記』、『情報関係基礎』を受験できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において当該科目を履修した者(見込みを含む)に限ります。

個別学力検査

小 論 文

出題の意図を理解しているか、文章が論理的に構成されているか等を評価します。

課題は、当日指定します。

配 点

教 科	数 学	理 科	外国語	小論文	計
区 分					
大学入試センター試験	200	(注) 200	200		600
個 別 学 力 検 査				100	100

(注)大学入試センター試験の「理科」の3科目を受験した場合は、高得点の2科目の成績を採用します。

(3) 選抜試験の日時及び場所

期 日	教科等	時 間	場 所
平成17年3月12日(土)	小論文	10:00~12:00 (120分)	長岡技術科学大学

(4) 合格者の発表

平成17年3月23日(水) 午前10時

平成17年度第1学年学生募集要項(私費外国人留学生特別選抜)(概要)

1 募集人員

学 部	課 程	募集人員
工学部	機械創造工学課程	若 干 人
	電気電子情報工学課程	若 干 人
	材料開発工学課程	若 干 人
	建設工学課程	若 干 人
	環境システム工学課程	若 干 人
	生物機能工学課程	若 干 人
	経営情報システム工学課程	若 干 人

2 出願資格及び出願要件

日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成16年度日本留学試験(第1回または第2回。出題教科は、日本語、数学[コース2]、理科[2科目自由選択]の3教科4科目。)を受験している者のうち、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成17年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成17年3月31日までに達する者
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成17年3月31日までに達する者
- (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成17年3月31日までに達する者
 - 1 なお、上記(1)から(4)のいずれの場合も、「出入国管理及び難民認定法」において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は大学入学後に当該資格を取得可能な者であることが必要です。
 - 2 入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず事前に本学入学試験係に電話・郵便等により照会してください。
 - 3 「日本留学試験」については、下記「日本学生支援機構」へ照会してください。

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課 〒153 8503 東京都目黒区駒場4-5-29 (TEL 03-6407-7457)
--

3 志望課程の選定

- (1) 第1志望の課程
入学志願者は、前記「1 募集人員」に示す課程から、志望する1課程を選んでください。
- (2) 第2志望の課程
第1志望の課程以外のすべての課程から1課程を選ぶことができます。

4 願書受付期間

平成17年1月24日(月)～平成17年2月2日(水)(期間内必着)

5 選抜の方法

入学者の選抜は、本学が実施する「個別学力検査」、日本学生支援機構が実施する「平成16年度日本留学試験」の各結果を総合して判定します。「面接」及び出身学校長が提出した「成績証明書」は、選抜の基礎資料とします。

なお、「平成17年度大学入試センター試験」は受験を要しません。

また、課せられた教科等の試験を、すべて受験しなければ失格とします。

(1) 個別学力検査教科・科目

数学(数・数・数)(必須)

理科又は工業(受験する「科目」を、下表から選択し、入学志願票の所定欄に記入してください。)

教科等	科目名等	摘 要
理 科	物理 B・物理 化学 B・化学 生物 B・生物	3科目のうちから 1科目選択
工 業	機械工作・機械設計 電 気 基 礎 工 業 化 学 化 学 工 学 土 木 設 計 建 築 構 造 設 計 環境工学・環境保全	7科目のうちから 1科目選択

1. 「理科」又は「工業」のいずれかを選択してください。
ただし、「工業」を選択できるのは、高等学校の「工業に関する学科」の卒業(見込)者に限りません。
2. 「工業」の各科目については、当該科目と「工業数理」のうち、当該科目に関係の深い部分を併せて出題範囲とします。

英語(必須)

(2) 面 接

個人面接を行い、人物・適性について評価し、選抜の基礎資料とします。

(3) 配 点

個別学力検査の配点は、次のとおりです。

区 分	教 科					
	日本語	数学	理科	理科 又は 工業	英語	計
日本留学試験	400	200	200			800
個別学力検査		150		150	100	400

6 選抜試験の日時及び場所

期 日	教科等	時 間	場 所
平成17年2月25日(金)	数 学	10:00～11:30 (90分)	長岡技術科学大学
	理 科 又 は 工 業	13:00～14:30 (90分)	
	英 語	15:00～16:00 (60分)	
	面 接	16:30～	

7 健康診断

提出された「健康診断書」により審査します。(選抜には使用しません。)

ただし、更に精密な診断が必要と認められた受験者に対しては、試験当日に再検診を行います。

再検診を行う者には、おって文書で指示します。

8 合格者の発表

平成17年3月7日(月) 午前10時

平成17年度第1学年学生募集要項(帰国子女特別選抜)(概要)

1 募集人員

学部	課程	募集人員
工学部	機械創造工学課程	若干人
	電気電子情報工学課程	若干人
	材料開発工学課程	若干人
	建設工学課程	若干人
	環境システム工学課程	若干人
	生物機能工学課程	若干人
	経営情報システム工学課程	若干人

2 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。)を平成15年4月1日から平成17年3月31日までに卒業(修了)し、又は卒業(修了)見込みの者で、外国において、最終学年を含め2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。
ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成15年又は平成16年に授与された者で、18歳に達した者及び平成17年3月31日までに達する者。
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成15年又は平成16年に授与された者で、18歳に達した者及び平成17年3月31日までに達する者。
- (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成15年又は平成16年に授与された者で、18歳に達した者及び平成17年3月31日までに達する者。

「帰国子女」として入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず事前に本学入学試験係に電話・郵便等により照会してください。

3 志望課程の選定

- (1) 第1志望の課程
入学志願者は、前記「1 募集人員」に示す課程から、志望する1課程を選んでください。
- (2) 第2志望の課程
第1志望の課程以外のすべての課程から1課程を選ぶことができます。

4 願書受付期間

平成17年1月24日(月) ~ 平成17年2月2日(水) (期間内必着)

5 選抜の方法

入学者の選抜は、本学が実施する個別学力検査の結果により判定します。「面接」及び最終出身学校から提出された「推薦書」、「成績証明書」は、選抜の基礎資料とします。

なお、「平成17年度 大学入試センター試験」は受験を要しません。

また、課せられた教科等の試験を、すべて受験しなければ失格とします。

(1) 個別学力検査

数 学 (数 ・数 ・数)(必須)

理 科 (物理 B・物理 、化学 B・化学 、生物 B・生物 の3科目から1科目選択)

(2) 面接

個人面接を行い、人物・適性について評価し、選抜の基礎資料とします。

(3) 配点

個別学力検査の配点は、次のとおりです。

区分 \ 教科	数 学	理 科	計
個別学力検査	150	150	300

6 選抜試験の日時及び場所

期 日	教科等	時 間	場 所
平成17年2月25日(金)	数 学	10:00~11:30(90分)	長岡技術科学大学
	理 科	13:00~14:30(90分)	
	面 接	15:00~	

7 健康診断

提出された「健康診断書」により審査します。(選抜には使用しません。)

ただし、更に精密な診断が必要と認められた受験者に対しては、試験当日に再検診を行います。再検診を行う者には、おって文書で指示します。

8 合格者の発表

平成17年3月7日(月) 午前10時

平成17年度大学院工学研究科修士課程学生募集要項(一般選抜・社会人特別選抜)

[第2次募集](概要)

1 募集人員等

(1) 募集人員

研究科名	専 攻 名	一 般 選 抜	社会人特別選抜
工学研究科	機 械 創 造 工 学 専 攻	若干人	若干人
	電 気 電 子 情 報 工 学 専 攻	若干人	若干人
	材 料 開 発 工 学 専 攻	若干人	若干人
	建 設 工 学 専 攻	若干人	若干人
	環 境 シ ス テ ム 工 学 専 攻	若干人	若干人
	生 物 機 能 工 学 専 攻	若干人	若干人
	経 営 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻	若干人	若干人

(2) 社会人特別選抜について

社会人特別選抜には、次の二つのコースがあります。

なお、在職のまま入学する者については、大学院設置基準第14条による教育方法の特例として夜間その他特定の時間又は時期に授業又は研究指導を受けることができる制度があります。

一般コース

一般的な社会人のための再教育のコースです。

また、機械創造工学専攻には、機械安全の基本思想と、それに基づく基礎技術を体系的に教育し、安全技術者の養成を行う社会人キャリアアップコース「機械安全工学」のコースもあります。

高等学校工業担当教員リフレッシュ教育コース

現職の工業科目を担当する高等学校教員に大学院修士課程の教育を行い、専門分野の深化を図るとともに工業教育の今日的課題への積極的対応能力を養い、その視野の拡大と資質の向上を図ることを目的とするコースです。

なお、入学後の身分（現職、休職等）については、当該教育委員会等の定めによるものとなります。

2 出願資格

(1) 一般選抜

大学を卒業した者及び平成 17 年 3 月までに卒業見込みの者

大学評価・学位授与機構において、学士の学位を授与された者

平成 17 年 3 月までに、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了及び大学評価・学位授与機構において学士の学位を授与される見込みの者

外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 17 年 3 月までに修了見込みの者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 17 年 3 月までに修了見込みの者

文部科学大臣の指定した者

平成 17 年 3 月までに大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認めた者

本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達したものと及び平成 17 年 3 月 31 日において、22 歳に達するもの

(2) 社会人特別選抜

一般コース

(ア)上記(1)の ~ の者で、平成 17 年 3 月 31 日において、企業等で 2 年以上職員として勤務経験のある者

(イ)上記(1)の の者で、24 歳に達したものと及び平成 17 年 3 月 31 日において 24 歳に達するもので企業等で 2 年以上職員として勤務経験のある者

高等学校工業担当教員リフレッシュ教育コース

次の(ア)から(イ)のすべてに該当する者

(ア) 大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者

(イ) 高等学校教諭一種免許状（工業）を有する者

(ウ) 平成 17 年 3 月 31 日において、高等学校で工業科目を 3 年以上担当し、在職のまま入学できる 40 歳未満の者

(エ) 都道府県教育委員会等の推薦がある者

(注 1)(1)の に該当する者については、「出願に必要な書類等」と併せて、別途提出する書類がありますので、必ず事前に本学入学試験係へ問い合わせ願います。

(注 2)(1)の 、 及び(2)の の(イ)に該当する者については、必ず事前に本学入学試験係へ問い合わせのうえ、次の書類を、平成 16 年 12 月 1 日(水)までに提出してください。(出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。)

(1)の に該当の場合

- ・出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・在学証明書、成績証明書等

(1)の 及び(2)の の(イ)に該当の場合

- ・出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・学習歴等を証明する書類（卒業証明書、成績証明書など）
- ・実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類

3 専攻の選定等

入学志願者は、前記「1 募集人員」に示す専攻から、志望する1専攻を選んでください。
また、志望する大講座を併せて選んでください。

(注) 専攻及び大講座の選定等にあたっては、別冊の「大学案内」を参照してください。

4 専攻への配属

社会人特別選抜(一般コース)社会人キャリアアップコース「機械安全工学」に合格した者は、入学手続き終了後、機械創造工学専攻に配属されます。

5 願書受付期間

平成 17 年 1 月 17 日(月) ~ 平成 17 年 1 月 20 日(木)

6 選抜の方法

学力試験、面接及び提出された書類の各結果を総合して行います。

(1) 学力試験実施教科・科目

外国語科目 : 「英語」

基礎科目 : 「数学」

専門科目 : (下表のとおり)

専攻名	科目名
機械創造工学専攻	1. 力学 2. 材料力学 3. 熱力学 4. 流体力学 5. 機械工作法 6. 機械材料 7. 計測制御工学 8. 機械安全工学 社会人特別選抜(一般コース)の社会人キャリアアップコース「機械安全工学」を志願する者は「8」のみを選択。これ以外の者は、1から7までのうちから3つの科目を選択。
電気電子情報工学専攻	(1) 「電気磁気学」、「電気回路」及び「情報数学」のうちから1科目 (2) 「通信・情報」、「電力」及び「物性」のうちから1科目 (1)(2)合わせて計2科目を選択
材料開発工学専攻	「物理化学」、「無機化学」、「有機化学(高分子化学を含む。)」及び「材料科学(金属工学を含む。)」のうちから2科目を選択 ただし、「無機化学」と「材料科学(金属工学を含む。)」を同時に選択することはできない。
建設工学専攻	「構造工学」、「コンクリート工学」、「地盤工学」、「水工学」、「環境工学」及び「土木計画学」のうちから3科目を選択
環境システム工学専攻	「環境リモートセンシング工学」、「大気水圏動態解析学」、「環境生物化学」、「水圏環境制御工学」、「廃棄物・有害物管理工学」、「材料科学(材料強度を除く。）」、「交通計画」、「都市計画」のうちから3科目を選択
生物機能工学専攻	「生物学」、「生物物理学」、「生化学」、「分子生物学」、「細胞生物学」、「有機・高分子化学」、「基礎医科学(解剖生理学・神経科学の基礎)」、「医用工学基礎」及び「電子工学基礎」のうちから2科目を選択
経営情報システム工学専攻	「経営」、「情報」、「社会・経済」のうちから1科目を選択(論述式)

注) 社会人特別選抜について

一般コース及び高等学校工業担当教員リフレッシュ教育コースとも上記のとおりですが、基礎科目及び専門科目は、筆記試験に代えて、当該科目並びに提出された業績報告書の内容についての口述試験を行います。

(2) 面接

個人面接とします。

7 選抜試験の日時及び場所

(1) 一般選抜

期 日	科 目 等	時 間	場 所
平成 17 年 1 月 31 日 (月)	基 礎 科 目	1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0 (9 0 分)	長岡技術科学大学
	専 門 科 目	1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 (1 8 0 分)	
2 月 1 日 (火)	外 国 語 科 目	1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0 (9 0 分)	
	面 接	1 3 : 0 0 ~	

(2) 社会人特別選抜

期 日	科 目 等	時 間	場 所
平成 17 年 1 月 31 日 (月)	基 礎 科 目	1 0 : 0 0 ~	長岡技術科学大学
	専 門 科 目 (口述試験)		
2 月 1 日 (火)	外 国 語 科 目	1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0 (9 0 分)	
	面 接	1 3 : 0 0 ~	

8 合格者の発表

平成 17 年 2 月 17 日 (木) 午前 10 時

平成 17 年度大学院工学研究科修士課程学生募集要項 (外国人留学生特別選抜)

[第 2 次募集] (概要)

1 募集人員

研 究 科 名	専 攻 名	募 集 人 員
工 学 研 究 科	機 械 創 造 工 学 専 攻	若千人
	電 気 電 子 情 報 工 学 専 攻	若千人
	材 料 開 発 工 学 専 攻	若千人
	建 設 工 学 専 攻	若千人
	環 境 シ ス テ ム 工 学 専 攻	若千人
	生 物 機 能 工 学 専 攻	若千人
	経 営 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻	若千人

2 出願資格

日本の国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」において、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は大学院入学後に当該資格を取得可能な者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び 2005 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2005 年 3 月までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2005 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 大学卒業までに 16 年を要しない国において大学教育を修了した者であって、次の二つの要件を満たし、

かつ、本学大学院が、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者又は2005年3月までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者

2005年3月31日において、22歳に達している者

(5) 2005年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認められた者

(6) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものと及び2005年3月31日において、22歳に達するもの

(注1)(5)及び(6)に該当する者については、出願資格に応じた次の書類を本学入学試験係に確認のうえ、2004年12月1日(水)までに提出してください。(出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。)

(5)に該当の場合

出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)

在学証明書、成績証明書等

(6)に該当の場合

出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)

学習歴等を証明する書類

実務経験及び国際的活動経験を証明する書類

(注2)出願資格等を確認しますので、必ず事前に、本学入学試験係に電話、ファクシミリ、郵便等により照会してください。

3 専攻の選定等

入学志願者は、前記「1 募集人員」に示す専攻から、志望する1専攻を選んでください。

また、志望する大講座を併せて選んでください。

(注) 専攻及び大講座の選定等に当たっては、別冊の「大学院工学研究科修士課程専攻内容の紹介」及び「大学案内」を参照してください。

4 願書受付期間

2005年1月17日(月)～2005年1月20日(木)

5 選抜の方法

学力試験、面接及び提出された書類の各結果を総合して行います。

(1) 学力試験(筆記又は口述、ただし経営情報は筆記(論述式))

専門科目:志願者が専攻しようとする学問分野において、学習に必要な基礎ができているか試験を行います。

外国語科目:「英語」又は「日本語」

(2) 面接

6 選抜試験の期日及び場所

(1) 試験の期日

2005年1月31日(月)～2月1日(火)

(2) 試験の場所: 長岡技術科学大学

なお、詳細については、別途、志願者に通知します。

7 合格者の発表

2005年2月17日(木) 午前10時

1 募集人員

研究科	専攻名	一般選抜	社会人特別選抜
工学研究科	情報・制御工学専攻	若干人	若干人
	材料工学専攻	若干人	若干人
	エネルギー・環境工学専攻	若干人	若干人

2 出願資格

○ 一般選抜

- (1) 修士の学位を有する者及び平成 17 年 3 月までに修士の学位を授与される見込みの者
- (2) 外国の大学において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 17 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 17 年 3 月までに授与される見込みの者
- (4) 大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、国・公・私立の大学及び研究機関並びに民間企業等の研究所その他の研究開発のための施設において、2 年以上研究開発に従事した者で、当該研究開発の成果等により、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (5) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達したものと及び平成 17 年 3 月 31 日において、24 歳に達するもの

○ 社会人特別選抜

- (6) 上記(1)～(3)の者で、平成 17 年 3 月 31 日において、企業等で 2 年以上職員として勤務経験のある者
- (7) 上記(4)の者で、平成 17 年 3 月 31 日において、企業等で 4 年以上〔上記(4)による研究開発に従事した 2 年以上の期間を含む。〕職員として勤務経験のある者
- (8) 上記(5)の者で、26 歳に達したものと及び平成 17 年 3 月 31 日において 26 歳に達するもので企業等で 4 年以上職員として勤務経験のある者

(注) 上記出願資格(4) (5) (7) 及び(8)により出願する者は、必ず事前に本学入学試験係へ問い合わせのうえ、出願資格に応じた次の書類を、平成 16 年 12 月 1 日(水)までに提出してください。
(出願資格審査は、提出された書類等を基に修士の学位を有する者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。)

出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)

研究成果報告書(1,000 字以内)

研究歴証明書(本学所定の用紙)

学習歴、職歴・研修歴等実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類

3 社会人特別選抜による入学者の教育方法の特例について

社会人特別選抜により入学する者のうち、在職のまま入学する者については、教育方法の特例として、大学院設置基準第 14 条に基づき夜間その他特定の時間又は時期において、授業又は研究指導を受けることができます。

4 願書受付期間

平成 17 年 1 月 17 日(月)～平成 17 年 1 月 20 日(木)

5 選抜の方法

学力試験及び提出された書類の各結果を総合して行います。

(1) 学力試験

一般選抜

提出された修士論文等を中心に、関連する専門分野についての試験及び語学の試験を行います。ただし、海外在住者においては、書類審査のみで選考が可能と大学が判断した場合、関連する専門分野及び語学の試験を免除することがあります。

社会人特別選抜

提出された修士論文及び業績報告書等の内容についての試問を含む面接により行います。

6 選抜試験の期日及び場所

(1) 試験の期日

平成 17 年 1 月 31 日 (月)・2 月 1 日 (火)

(2) 試験の場所：長岡技術科学大学

なお、選抜の方法、試験場等の詳細については、別途、志願者に通知します。

7 合格者の発表

平成 17 年 2 月 17 日 (木) 午前 10 時

平成 17 年度大学院工学研究科博士後期課程学生募集要項 (外国人留学生) [第 2 次募集] (概要)

1 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
工学研究科	情報・制御工学専攻	若干人
	材料工学専攻	若干人
	エネルギー・環境工学専攻	若干人

2 出願資格

(1) 修士の学位を有する者及び 2005 年 3 月までに修士の学位を授与される見込の者

(2) 外国の大学において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2005 年 3 月までに授与される見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2005 年 3 月までに授与される見込みの者

(4) 大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、国・公・私立の大学及び研究機関並びに民間企業等の研究所その他の研究開発のための施設において、2 年以上研究開発に従事した者で、当該研究開発の成果等により、本学大学院において、修士の学位を有する者と同年以上の学力があると認められた者

(5) 本学大学院において、個別の出願資格審査により修士の学位を有する者と同年以上の学力があると認められた者で、24 歳に達したものと及び 2005 年 3 月 31 日において、24 歳に達するもの

(注 1) (4) 及び (5) に該当する者は、出願資格に応じた次の書類を本学入学試験係に確認のうえ、2004 年 12 月 1 日 (水) までに提出してください。(出願資格審査は、提出された書類等を基に修士の学位を有する者と同年以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。)

出願資格認定審査調書 (本学所定の用紙)

研究成果報告書 (1,000 字以内。英文の場合は 300 単語以内)

研究歴証明書 (本学所定の用紙)

学習歴、職歴・研修歴等実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類

(注 2) 出願資格等を確認しますので、必ず事前に本学入学試験係に電話、ファクシミリ、郵便等により照会してください。

3 願書受付期間

2005年1月17日(月)～2005年1月20日(木)

4 選抜の方法

学力試験及び提出された書類の各結果を総合して行います。

学力試験

提出された修士論文等を中心に、関連する専門分野及び語学の試験を行います。ただし、海外在住者においては、書類審査のみで選考が可能と大学が判断した場合、関連する専門分野及び語学の試験を免除することがあります。

5 選抜試験の期日及び場所

(1) 選抜試験の期日

2005年1月31日(月)・2月1日(火)

(2) 選抜試験の場所：長岡技術科学大学

なお、詳細については、別途、志願者に通知します。

6 合格者の発表

2005年2月17日(木) 午前10時

平成17年度第1学年(推薦)入学者選抜試験概況

1 合格発表

平成16年12月9日(木)

2 志願者数・合格者数

課 程	募集人員	志願者	受験者	合格者	備考
機械創造工学課程	7	15	15	9	
電気電子情報工学課程	7	20	20	10	
材料開発工学課程	5	12	12	9	機械創造工学課程からの第2志望合格者1人を含む。
建設工学課程	5	13	13	10	
環境システム工学課程	5	3	3	6	機械創造工学課程からの第2志望合格者1人、建設工学課程からの第2志望合格者2人を含む。
生物機能工学課程	5	7	7	7	
経営情報システム工学課程	5	11(2)	11(2)	9(2)	
合 計	39	81(2)	81(2)	60(2)	

(注) ()内は、女子を内数で示す。

諸 報

受賞関係

賞等の名称及び受賞年月日	表彰団体名	被表彰者名	受賞の対象となった研究題目等
2004年度精密工学会秋季大会学術講演会ベストオーガナイザー賞 平成16年9月17日	(社)精密工学会	機械系・教授 福澤 康	オーガナイズドセッション「機能創成へ向けてのエネルギー応用加工」
学生奨励賞 平成16年10月2日	(社)電子情報通信学会信越支部	電気系・助教授 岩橋政宏	独立成分分析を用いたぼけ画像復元過程におけるサンプリング効果の一考察
優秀発表賞 平成16年10月6日	(社)日本セラミックス協会東北北海道支部	化学系・教授 植松 敬三 化学系・助教授 内田 希 化学系・助手 田中 諭 学務課・技術職員 加藤 善二	強磁場下で作製した SrBi ₄ Ti ₄ O ₁₅ の作製と評価
ヴェトナム政府、勲章 平成16年10月22日	ヴェトナム教育訓練省	機械系・教授 石崎 幸三	ヴェトナムに対する教育(特に高等教育部門)への支援
研究奨励賞 平成16年10月22日	(社)日本セラミックス協会電子材料部会	電気系・教授 高田 雅介 電気系・助手 岡元 智一郎 学務課・教務職員 黒木 雄一郎	カルコバイライト型化合物 CuAlS ₂ の合成と発光特性の評価
名誉博士号 平成16年11月1日	ヴェトナム教育訓練省、ハノイ工科大学	学長 小島 陽	ハノイ工科大学における学術国際交流に対する顕著な学問上及び教育上の貢献を賞賛して
E-Learn 2004 Outstanding Paper Award 平成16年11月3日	World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare, & Higher Education, U.S.A	経営情報系・助教授 植野 真臣	Animated Agent to Maintain Learner's Attention in E-Learning
Best Paper Award (最優秀論文賞) 平成16年11月5日	アメリカ電気電子学会産業電子部門	電気系・教授 大石 潔	High Performance Robust Motion Control of Industrial Robot Using Parameter Identification Based on Resonant Frequency
平成15年度部門一般表彰優秀講演論文部門 平成16年11月6日	(社)日本機械学会機械材料・材料加工部門	機械系・教授 武藤 睦治 機械系・助手 宮下 幸雄 機械系・助手 奥村 勇人	鋼/アルミニウム合金のレーザー接合における界面制御
第57回新潟日報文化賞(産業技術部門) 平成16年12月14日	新潟日报社	環境・建設系・教授 原田秀樹 環境・建設系・助教授 大橋晶良 環境・建設系・助手 井町寛之	発展途上国のエネルギー最小消費型下水廃水処理技術の創出

永年勤続者表彰

平成 16 年 11 月 23 日付けで、次の者に対して表彰状と記念品が授与された。(敬称略)

原田信弘(電気系)
中出文平(環境・建設系)
田辺郁男(工作センター)
大崎博行(総務課)
中島恵理子(総務課)
山田 豊(総務課)
中嶋 仁(総務課)
堀越順市(会計課)
丸田 誉(会計課)
小林和博(産学連携・研究推進課)
井越好弘(学生課)
山田信義(施設管理課)

叙位、叙勲

平成 16 年 11 月 26 日に逝去された本学元学長故内田安三氏に対して、正四位瑞宝重光章が授与された。

独立行政法人国立高等専門学校機構と両技大との懇談会

今後の高専・技大間の連携活動については、高専機構を通してより密接に行うことを確認し、教育・研究をはじめ多方面に渡り、意見交換を行った。

- ・日時 平成16年12月2日(木) 15時
- 場所 キャンパス・イノベーションセンター
- 議題 1. 両技大の紹介について
2. 今までの高専への活動について
3. 今後の機構(高専)・技大間の連携活動について
4. 「機構・高専の将来構想」と「両技大の将来構想」について

セクシュアル・ハラスメントの防止に関する講演会

- ・日時 平成16年12月15日(水)
15時15分～16時45分
- 演題 「セクシュアル・ハラスメントについて考える」
- 講師 国立大学法人新潟大学保健管理センター講師 七里佳代 氏

公開講座

(公開講座)

- ・日時 平成 16 年 10 月 2 日(土)
平成 16 年 10 月 9 日(土)
各日とも 13 時～16 時
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- テーマ 「IT 社会の光と影」
- 対象者 社会人一般
- 受講者 21 名

(公開講座)

- ・日時 平成 16 年 12 月 4 日(土)
平成 16 年 12 月 11 日(土)
各日とも 13 時～16 時 10 分
- 場所 長岡市立中央図書館
- テーマ 「情報技術を用いた新潟県・長岡市の雪害・水害の実態把握とその対策」
- 対象者 社会人一般
- 受講者 31 名

技術開発懇談会

- ・期日 平成 16 年 10 月 18 日(月)
- 時間 18 時～20 時
- 場所 ニュー大黒ビル 6 F 会議室
- テーマ マイクロ波加熱の特性とその応用
- 話題提供者 機械系 教授 青木和夫
- 参加者 10 名
- ・期日 平成 16 年 12 月 9 日(木)
- 時間 18 時～20 時
- 場所 アトリウム長岡
- テーマ 企業と市場の見方 - 先駆的研究からのアプローチ -
- 話題提供者 経営情報系 助教授 遠山正朗
- 参加者 10 名

平成 16 年度高度技術者研修

- ・日時 平成 16 年 10 月 7 日(木) 9 時
平成 16 年 10 月 8 日(水) 9 時
- 場所 電気 1 号棟 6 階会議室他
- 講座名 最新の電子・光デバイスとそれを支える先端技術
- 対象者 本分野に特に関心のある現職の技術者等
- 参加者 7 名

長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク

- ・日時 平成 17 年 1 月 4 日(火)
14 時～15 時 45 分

場所 マルチメディアシステムセンター
テーマ 地域経済活性化を意図した産学官連携の模索
参加者 106名

知的財産セミナー

- ・日時 平成16年11月26日(金)
平成16年11月30日(火)
平成16年12月3日(金)
各日とも13時~15時

場所 情報処理センター
参加者 本学教職員、学生 14名

工作センター講演会

新しい生産技術、新奇性のある研究開発の実例を今後の教育・研究に反映させることを目的に講演会を開催した。

- ・日時 平成16年12月7日(火) 13時
場所 本学講義棟 A講義室
演題 5軸制御工作機械の開発動向
講師 東京農工大学大学院共生科学技術研究部長 堤 正臣氏

参加者 108名

スーパー・サイエンス・ハイスクール研究室訪問

- ・日時 平成16年11月22日(月) 14時30分
講師 機械系・・・高橋勉助教授、井原郁夫助教授
電気系・・・小野浩司助教授
化学系・・・小松高行教授、藤原巧助教授
生物系・・・山元皓二教授、宮内信之助教授、渡邊和忠教授、霜田靖助手

参加者 長岡高校理数科1年生40名

匠陵講演会

- ・日時 平成16年10月15日(金) 18時
場所 まちなか・考房
演題 「コイに引かれて宇宙まで」
講師 名古屋大学名誉教授 御手洗 玄洋氏

特別講演会

- ・日時 平成16年12月10日(金) 13時
場所 A講義室

演題 「原子力発電の今と将来」
講師 (株)グローバル ニュークリア フュエル ジャパン

- ・日時 平成16年12月10日(金) 15時
場所 マルチメディアシステムセンター
演題 「シリコン基板上への窒化物微細構造の作製：窒化物による量子ナノデバイスの創製をめざして」

講師 名古屋大学工学部電子工学科 教授 澤木 宣彦氏

- ・日時 平成16年12月24日(金) 14時40分
場所 A講義室
演題 「ロボットの過去・現在・未来」
講師 神戸大学名誉教授 高森 年氏

第1回学長と学生との懇談会

- ・日時 平成16年10月4日(月)
場所 総合研究棟7階会議室
参加者 17名

第2回就職ガイダンス

- ・日時 平成16年10月20日(水) 13時30分
場所 講義棟A講義室
内容 1. 理系学生の就職講座
~ 応募書類と面接について ~
講師 (有)ステージ・フォー・ワン代表取締役 Professional Recruiters Club 代表 鈴木 美伸氏

交通安全講演会

- ・日時 平成16年12月1日(水) 12時20分
場所 講義棟B講義室
演題 「雪道での交通安全について」
講師 社団法人日本自動車連盟新潟支部 事業係長 梨本 信栄氏

学生指導研究会

- ・日時 平成16年12月3日(金) 13時30分
演題 学生相談の基礎知識
- 面接の仕方と対応 -
講師 筑波大学人間総合科学研究科 助教授 杉江 征氏

平成16年度サークルリーダー研修会

- ・日時 平成16年12月11日(土)
場所 講義棟106講義室

演題 「先見性と実行力・統率力のリーダー」から「引き出しつなぐコーディネーター」へ
 講師 編集工房わらく
 主宰 和田 一 良 氏

平成 16 年度外国人留学生等実地見学旅行

・日時 平成16年10月9日(土)～10日(日)
 場所 福島県、栃木県方面
 参加者 61名

第 6 回長岡国際祭り

・日時 平成 16 年 12 月 19 日(日) 14 時
 場所 長岡商工会議所
 参加者 市民含む約 300 名

平成 16 年度留学生等交流懇談会

留学生が日常生活上お世話になっている学外関係者を招待し、関係者間で意見交換を行い、相互理解を深めると同時に、感謝の意を表すことを目的として、次の通り開催した。

・日時 平成 16 年 12 月 22 日(水) 17 時
 会場 セコムホール

出席者 外国人留学生、外国人研究者、長岡市企画部長、長岡市国際交流センター長、長岡技術科学大学同窓会会長、新潟県消費者協会長岡支部長、国際ソロプチミスト長岡会長、長岡ロータリークラブ会長、長岡西ロータリークラブ会長、長岡東ロータリークラブ幹事、地元懇話会会長、深才公民館官庁、深才地区連合町内会会長、むつみ会会長、下宿・貸間組合組合長、長岡いずみ会、越後民謡やよい会、学長、副学長、教職員、チューター等約 250 名

平成 16 年度科学研究費補助金交付決定一覧（追加分）

（単位：千円）

研究種目	課題番号	研究代表者	研究課題名	交付決定額
萌芽研究	16656147	陸 旻皎	ダム計画の争点となっているカバー率の統計的性質に関する研究	2,500
	16656203	高田雅介	通電加熱による紫外発光酸化亜鉛結晶の新規作製法に関する研究	1,600
		2件	計	4,100

日誌

10月2日(土) 公開講座 米百俵まつり(学生)	15日(金) 第40回国立大学工業大学長懇談会(京都ステーションホテル)
4日(月) 第1回学長と学生との懇談会	平成17年度社会人留学生特別コース出願受付期限
7日(木) 高度技術者研修(～8日) 国立大学法人関東・甲信越地区 広報連絡会議(如水会館)	匠陵講演会(まちなか・工房)
8日(金) 第28回国立大学52工学系学部 長会議総会(KKR東京) 防火訓練	18日(月) 技術開発懇談会(ニュー大黒ビル)
9日(土) 外国人留学生実地見学旅行(日光方面,～10日) 公開講座	国立大学協会関東甲信越地区会議(東京)
12日(火) 関東甲信越地区学生関係副学 長・部課長会議(ラフレさいたま,～13日) 平成16年度国際企画担当職員 研修(～14日,国立オリンピック 記念青少年総合センター)	19日(火) 平成16年度新潟県内国立学校 等係長研修(～22日,上越教育 大学他) 「産」の需要を「官」の支援で 「学」と形にするOMIAI (万代シルバーホテル)
14日(木) 防災講演会 第16回国立大学共同研究セン	20日(水) 全国学生指導研究集会(国立オ リンピック記念青少年総合セン ター,～22日)

- 第2回就職ガイダンス
- 21日(木) 第37回北陸信越地区国立大学工学部長会議(東京ガーデンパレス)
- 22日(金) 第84回関東甲信越地区総務部課長会議(東京)
- 11月2日(火) 平成17年度第1学年(推薦)願書受付(~15日)
- 4日(木) 長岡高専・長岡技大合同会議
- 5日(金) 国立大学協会総会(金沢都ホテル)
- 10日(水) 長岡高専・長岡技大懇談会
- 11日(木) 新潟ビジネスメッセ2004(~12日,新潟市産業振興センター)
- 14日(日) 平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」フォーラム(東京国際交流館)
- 15日(月) 平成16年度関東・甲信越地区管理事務協議会(ホテルメトロポリタン高崎)
- 16日(火) 中部圏工学系事務協議会(福井大学)
永年勤続者表彰式
- 18日(木) 新潟県内国立大学法人等職員に係る退職者準備セミナー(新潟大学)
- 22日(月) スーパー・サイエンス・ハイスクール研究室訪問
- 25日(木) 平成16年度北信越地区国立大学附属図書館事務部課長会議(ホテルイン金沢)
- 26日(金) 平成17年度第1学年入試(推薦)(本学,筑波大学東京キャンパス)
知的財産セミナー
- 29日(月) 第39回関東甲信越地区国立大学法人等会計事務研修(~12月2日,国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 30日(火) 知的財産セミナー
- 12月1日(水) 交通安全講演会
- 2日(木) 独立行政法人国立高等専門学校機構と両技大との懇談会(キャンパス・イノベーションセンター)
- 3日(金) 平成16年度学生指導研究会
知的財産セミナー
- 4日(土) 公開講座(長岡市立中央図書館)
- 7日(火) 第11回新潟県内高等教育機関懇談会(長岡造形大学)
- 8日(水) 国立大学協会臨時総会(学士会館)
- 9日(木) 技術開発懇談会(アトリウム長岡)
- 第6回21世紀COEプログラム国際シンポジウム(~11日,グアナファト)
- 平成17年度第1学年(推薦)合格発表
- 10日(金) 特別講演会
- 11日(土) 平成16年度サークルリーダー研修会
公開講座(長岡市立中央図書館)
青少年のための科学の祭典2004新潟県大会(~12日,新潟市産業振興センター)
- 15日(水) セクシュアル・ハラスメントの防止に関する講演会
- 17日(金) 平成17年度入学者選抜大学入試センター試験入試担当者連絡協議会議(第2回)(昭和女子大学)
- 18日(土) 新潟産業大学長・長岡技術科学大学元学長故内田安三儀新潟産業大学・長岡技術科学大学合同葬(新潟産業大学講堂)
- 19日(日) 第6回長岡国際まつり(長岡商工会議所)
- 20日(月) 学位記授与式
- 22日(水) 平成16年度留学生等交流懇談会
- 24日(金) 特別講演会
- 28日(火) 仕事納め
- 1月4日(火) 仕事始め
平成17年度大学院博士(学内進学9月)願書受付(~7日)
テクノインキュベーションセンター新春トーク

訃報

名誉教授(元学長)内田安三氏(享年74才)は、平成16年11月26日(金)に逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

平成 16 年度学内委員会委員等の異動

異動年月日	委員会名等	新委員	旧委員
16.11.29	評価室大学評価部会アドバイザー	丸山久一	
"	" 委員	矢鍋重夫	
"	" "	大石 潔	
"	" "	植松敬三	
"	" "	福嶋祐介	
"	" "	曾田邦嗣	
"	" "	中村和男	
"	" "	村山康雄	
"	" "	栄 隆士	